

2015年7月23日

ミキハウス子育て総研株式会社
(URL: /www.happy-note.com)

報道関係者 各位

ミキハウス子育て総研株式会社 は **静岡県小山町**と、子育てファミリーの移住・定住施策の相互協力を目的とした**“子育てファミリー支援包括協定”**を、7月23日に締結しましたのでご報告致します。

地方自治体(市町村)との包括協定締結は、日本初・第1号となります。

2014年11月静岡県と「子育てにやさしい快適な暮らし空間の実現に関する協定」を締結している当社は、同県からのご紹介でお出会った、子育て世代の移住定住促進事業を推進する静岡県小山町と、このほど、“子育てファミリー支援包括協定”の締結を行いました。

当社の子育てファミリー支援事業で培ってきた、知見、ノウハウ、情報発信力をより戦略的に同町にご活用いただくことで、当社ならではの同事業推進の応援ができると判断したことがその理由です。

<協定締結に至る経緯>

①優良な子育て支援住宅の充実

このほど町が宅地造成した分譲地クルドサック16をモデルハウス2棟(臼幸産業株式会社、亥太郎建設株式会社)と合わせ、“子育てにやさしい住まいと環境”住宅地として認定(※1)

また、今後も上記認定取得を目指す、子育てファミリー向け優良住宅地の計画が複数あることなどを当社としても高く評価させていただきました。

②移住定住を希望する子育てファミリーの受け入れ態勢の充実

移住希望の子育てファミリーが知りたい、居住環境、子どもの教育環境や医療体制、保護者の就労支援・仕事環境、地域の人々との交流機会(コミュニティ)などを総合的に評価し、このほど同町は“ウェルカムファミリーの自治体”認定を取得されました(※2)

また、縦割り行政を超えた、子育て支援情報の一元化の推進なども高く評価させていただいております。

③子育て中の町民(移住定住者含む)向け子育て支援メニューの充実

- ・子育て情報の拡充のため、当社発行の子育て情報誌Happy-Note(※3)の定期配布(予定)
- ・「出産お祝いセット」の配布(予定)

上記3つの観点から、都会で暮らす子育てファミリーに、移住定住先として小山町を推薦できると総合的に判断。全国で継続して子育て支援活動を行う当社の、コンテンツや自社メディアを通じた情報発信、また認定ノウハウや第三者機関としての信頼性などが同町にも活用させていただけるほか、他の地方自治体の移住定住事業支援へも広げていける汎用性があると考えております。

地方自治体(市町村)との包括協定締結は、日本初・第1号となります。

(※1) “子育てにやさしい住まいと環境”認定事業とは

- 当社が2006年3月より民間で初めて策定した住まいの子育て、家事支援の配慮度合（間取りや設備の工夫、良好な立地周辺環境等）に関する評価基準をもとに、専属の認定士が物件を調査・認定する事業。認定された物件は、下記のロゴマークを使用して、消費者向けアピールができる。

※全国で400物件、4万戸の認定実績有り



■ 認定対象と認定基準

	基準項目	認定ライン(完成物件)	認定ライン(未完成物件)
分譲マンション	100	60	60
分譲一戸建て	90	60	62
賃貸マンション	80	50	52
賃貸戸建	70	45	47
注文住宅 モデルハウス	68	60	60

- 認定基準は“安心・安全” “ママのストレス軽減” “子どもの健康対策” “親子のコミュニケーション” “子どもの成長対応”等から構成。戸建住宅は、全90項目中60項目以上充足で認定される。

※別紙で、クルドサック16の評価報告書をご覧ください【資料1】

(※2) “ウェルカムファミリーの自治体”認定事業とは

- 妊娠・出産や子育てを契機に都会暮らしのファミリーが地方・田舎ならではの子育て環境の良さや家族全体での暮らしのあり様に着目することを想定し、移住定住の促進に向けた推奨を、10項目の評価項目の充足度の高さの評価で行う事業。下記のロゴマークを使用して、アピールができる。

これまでに、山梨県北杜市、新潟県出雲崎町の2つの自治体が認定取得。静岡県小山町は、全国で3番目の認定取得自治体となります。



- 評価項目は“住宅” “教育” “医療” “仕事” “コミュニティ”の5カテゴリー10項目あり、それぞれの充実度合いを評価させていただきます。

※別紙で、小山町の評価内容をご覧ください【資料2】

(※3)子育て情報誌Happy-Noteとは

Happy-Noteは、創刊11年の、無料の子育て情報誌。
お子さまを取り巻く環境や健康、住まいや暮らしに関心の高い層へ、より上質なライフスタイルを提案している。

■媒体名: Happy-Note (ハッピー・ノート)

■仕様: A4正寸・中綴 オールカラー

■発行部数: 17万部

■発行時期: 春・夏・秋・冬・年始 の年5回発行

■エリア: 全国

■配布方法:

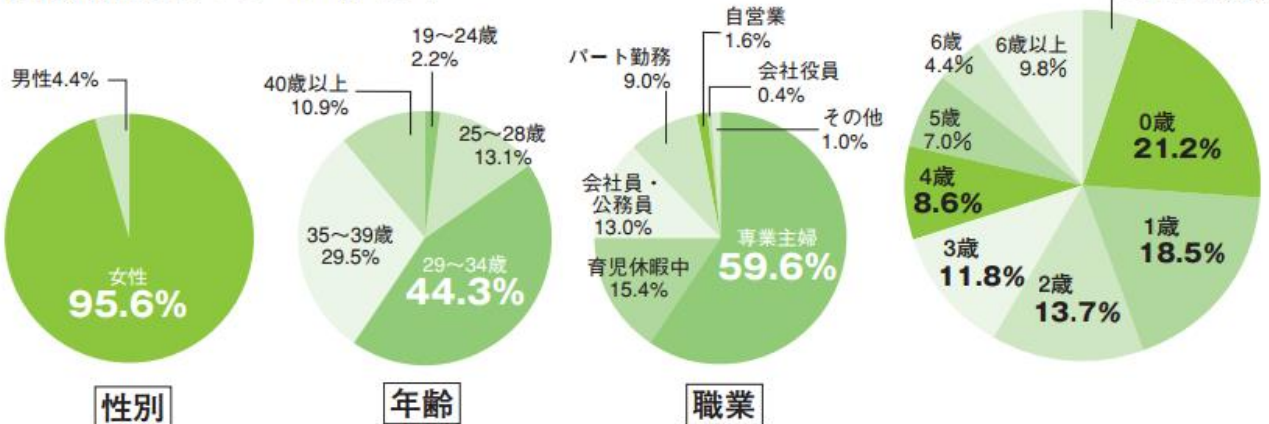
- ①百貨店内のミキハウスショップ(約280店舗)にて設置、もしくは購入者に手渡し・ショッピング袋に同梱
- ②ミキハウスの幼児教室(約60教室)にて、保護者の方に手渡し
- ③小児科など提携医療機関(約1800箇所)にて設置、もしくはドクターが配布

■読者ターゲット: 主に、0～4歳のお子さまがいる20代から4代の主婦



主な読者層

Happy-Note読者アンケートハガキより



■ミキハウス子育て総研株式会社(代表取締役社長: 藤田 洋) (URL: /www.happy-note.com)

■大阪事務所: 大阪市北区曽根崎新地 2-6-12 小学館ビル4階
東京事務所: 東京都港区芝大門1-4-8 浜松町清和ビル2階

■当リリースに関するお問い合わせ

認定事業担当: 吉野 順子 (yoshino@happy-note.com) TEL: 06-4797-1088(代)

クルドサック16の評価報告書

【資料1】

2. 街並み・コミュニケーション

場所	項目	内容
G 住民同士のコミュニケーションがなされる工夫がされている	69	こども相撲・綱引き大会が人気の「富士山金太郎春まつり」や「富士山金太郎夏まつり」、「豊門公園もみじまつり」がある。また、ハイキングイベントが、町と地元の方たちの協働によって開催されており、地域住民との交流の場作りが進んでいる。
	70	近隣に集会所があるため、様々な世代の住民と交流する機会が持てる。
H 子育てしやすい住まい環境が工夫されている	71	提供公園がすぐそばにあるため、近所の子育て世帯と交流する場所として最適である。
	72	分譲地の車道全体に車がスピードを出しにくい構造が取り入れられているため安全である。
	75	小山町主催の様々な収穫体験があるので気軽に参加できる。

3. 周辺環境・立地

場所	項目	内容
I 子育てに安全な環境になっている	77	車の通りの多い危険な道路が近くにないため安心して生活できる。
	78	交通量の多い場所には信号や横断歩道が設置されているので安心である。
	79	主要な通学路には歩道が完備され、登下校時には住民による見守り体制があるため安心である。
	80	パチンコなどの施設は近くにない。
J 子育てしやすい環境になっている	81	大小の公園があり、緑も豊富にあるため子育てに嬉しい環境である。
	82	近隣になかがわ医院がある。
	83	御殿場救急センターで24時間救急対応が可能である。
	85	徒歩13分に明倫小学校。徒歩18分に小山中学校がある。
	86	徒歩7分にすがぬま保育園がある。
	87	近くのポテト小山店では生活する上で不自由しないものがそろっているので便利である。
	89	小山町総合文化会館、図書館や児童遊戯室が近隣にある。
90	「ウエルカムファミリーの自治体」認定を取得している。	

【資料2】

【ウェルカムファミリーの自治体—静岡県小山町—認定評価報告書】

下記①～⑩の評価基準に対し、小山町としての回答をいただいた結果、当社の定めた認定基準を十分にクリアされましたので、2015年6月ウェルカムファミリーの自治体として認定いたしました。

ミキハウス子育て総研株式会社

○住宅

①<評価基準例>

市営、町営等の公的賃貸住宅や公的団地で、“子育てにやさしい住まいと環境”認定を受けたものがあり、外部の子育てファミリーに向かって入居・購入可能性が開かれている（または同等以上の子育て配慮の住宅が存在する）。

<小山町の回答>

町の造成による分譲地「ヒルズ・ギンキョウ」「クルドサック16」など、良質な住宅地の提供を行っており、「クルドサック16」は、「子育てにやさしい住まいと環境」認定を取得している。また、地元の民間企業と連携しながら「子育てにやさしい住まい」に認定されたモデルハウス建設を進めている。

（おやまで暮らそう課）

②<評価基準例>

定住に向けた、住宅面での優遇制度、助成制度が充実している。

<小山町の回答>

小山町では、居住用の土地の購入や住宅の賃貸について助成金を支給する制度を設けています。また、町主導での宅地造成・分譲地販売を行っており、その分譲地の購入に関しては、地元金融機関と協定を結び、特別金利を設定しています。

（おやまで暮らそう課）

○教育

③<評価基準例>

子どもが通える、保育所、幼稚園、小学校、中学校が近くにある。高校は他の自治体にあっても、当該住宅団地から通える範囲であれば評価する。また、働くママを応援する延長保育や、学童等が利用できる。

<小山町の回答>

町内には、町立のこども園1園、保育園3園、幼稚園3園、町立小学校5校、町立中学校3校、県立高校1校があります。こども園、保育園では延長保育を行っており、「放課後児童クラブ(学童保育)」を開設し、働く親御さんの支援を行っています。また、子育てを手伝って欲しい人に、子育てのお手伝いをしたい人を紹介する「ごてんば・おやまファミリー・サポート・センター」という事業を御殿場市と共同で運営しています。

(こども育成課)

④<評価基準例>

高度な教育(英会話等)や専門性を深める教育を受ける機会があり、何らかの助成制度がある。

<小山町の回答>

平成27年度から「小山町夢チャレンジ支援事業補助金交付要綱」により、英語検定試験料の一部補助を実施し、町内の中学生全員が受験することを推進しています。また、町内1小学校で、小学生を対象に英会話、将棋、学習支援を行っています。

(こども育成課)

○医療

⑤<評価基準例>

救急医療体制が整備されている。当該住宅団地から車で30分以内に夜間休日診療に応じられる総合病院があり、利用できる。

<小山町の回答>

隣接する御殿場市に、一次救急の受け入れ先として救急医療センター、二次救急の受け入れ先として総合病院があり、それぞれと連携しています。全て夜間休日診療に対応しており、町内から車で30分以内の場所にあります。

(健康増進課)

⑥<評価基準例>

他の市町村と比較して平均以上の医療費補助が受けられる。

<小山町の回答>

こども医療費助成制度として、町内在住の中学生以下の入院・通院にかかる医療費の保険診療分を、自己負担なく全額助成しています。さらに入院時の食事療養費の自己負担分も助成しています。

(健康増進課)

○仕事

⑦<評価基準例>

パパやママが在宅勤務できる通信環境が整備されている。現住所での仕事をSOHO的にもってこられる。逆に新規就労支援、新規就農支援など、保護者の仕事面での自立や再スタートを応援する支援策がある。

<小山町の回答>

静岡県の施策として、「開業パワーアップ支援資金」制度があり、設備資金や運転資金の融資など、創業支援に取り組んでいます。また、新東名開通に伴い、町内での新たな工業団地の開発・企業誘致を進めており、雇用確保に努めています。さらに、町外勤務者への支援の一環として、小田急線の最寄駅となる新松田駅(神奈川県松田町)近くに町営駐車場を確保し、安価に利用できる仕組みを整えています。

(商工観光課・農林課・未来拠点課・住民福祉課)

○コミュニティ

⑧<評価基準例>

妊娠、出産、乳幼児期に役立つ、地域性にも配慮した子育て支援情報が、豊富である。

<小山町の回答>

小山町の子育てに関する情報を掲載した「おやま子育て通信」を月1回発行しています。また、子育て世帯を中心に予防接種や乳幼児健診等の日程、母子保健事業の日程等を配布しています。子育て時期の教室として、赤ちゃん教室「びよびよ」と1歳教室「よちよち」を実施し、交流の場の確保と発育や成長等、子育ての情報を提供しています。

(こども育成課、健康増進課)

⑨<評価基準例>

地域住民、地域コミュニティと優しくつながって、溶け込んでいくための支援組織やリーダー、担当者が組織化されている。

<小山町の回答>

就園前の親子同士の交流や、子育て情報の提供などを目的とした「ペンギンランド(こども園・保育園で実施)」「わくわくランド(幼稚園で実施)」を週3~4回開催しています。こども園・幼保園や小中学校では年間を通じて様々なイベントが行われており、町全体や地区ごとにも夏祭り、体育大会などが開催されているため、地域住民同士のコミュニケーションの場は多く存在しています。

また、各地区出身の職員を中心とした地域担当職員制度を設け、地区ごとの活性化に取り組んでいます。

(こども育成課、町長戦略課)

⑩<評価基準例>

観光施設や農林水産物の直売所等で、日常的に外部との交流が行われている。

<小山町の回答>

世界遺産富士山をはじめ、世界遺産の構成資産でもある「富士浅間神社」、年間を通じてレースやイベントが行われている「富士スピードウェイ」、日本さくら名所百選に選ばれた「富士霊園」など、様々な観光施設があり、多くの観光客が訪れています。

また、町内には2つの道の駅(ふじおやま、すばしり)があり、それぞれ地元の特産品やお土産物を販売しています。

町全体での年間の観光客数はおよそ450万人です。

(商工観光課)